

「感染しない」「感染させない」を合言葉に コロナに負けないぞ！

有田史談会 月例通信

事務局 中村貞光

090-4740-4752

坂井会長からのメッセージ♪

■ 皆さんお元気ですか？ コロナワクチンの接種はお済でしょうか？ 私は第一回目の接種を5月7日に、第二回目を28日に済ませました。

アメリカ・ニューヨーク州の報道でわかるように、ワクチン接種の成果は大のようです。このままコロナが居座ると、有田はもちろんのこと日本国の存在自体が危うくなるような勢いです。ワクチンの接種が行き渡り、秋口には以前のように例会と大橋先生の講座が開催できる気がします。

7月発行予定の会報には、皆さんの寄稿をお待ちしています。

NHK 大河ドラマ「晴天を衝け」の主人公である渋沢栄一は、終生「論語」を手放さず経営の道しるべにしたそうです。ドラマの影響で、今後「論語」のブームが起きそうですので、それに先立ち「論語」の中の雍也（ようや）編の一説より、「子曰く これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず。」

意識：先生（孔子）がおっしゃった。何をするにも、知っている者は、好きだという者には及ばない。それが好きだという者は、楽しくて仕方ないという者には及ばない。

私は、有田を訪れる人が好印象を持って再訪されるよう、有田町の2ヵ所の草むしりをしております。初めは、自分がしなければと気負ってしていましたが、習慣になると意識せずに手が動くようになってきました。草むしりは、した後がはっきりと判り、気持ちが良くて達成感があり、やりがいがありますが、さらに一段上の「それが楽しみになる」までにはもう少し時間がかかりそうです。



事務局から・・・

■ 5月の有田陶器市も二年連続で中止になり、灯の消えた状況が続いています。新型コロナウイルスがこのように長期に居座り続け何もかも空転です。

コロナワクチンの接種も徐々に進んでいますが、新たな変異株の出現に今後も予断が許せません。コロナウイルスの収束は今のところ見通せない状況で、いったいどうなって行くのか、史談会の今後の在り方を考える必要がありそうです。

■ さて、2013年以来事務局を長期にわたり預かってきましたが、8年以上にもなりました。

先日、坂井会長に私が事務局を辞めたらどうなる？と冗談まじりにお聞きしましたところ、「中村さんが辞めれば解散になってしまう！」と笑いながら即答されてしまい、返答に困りました。私自身は楽しみながら事務局をこなしているつもりですが、歳なのでしょうか？（笑）コロナ禍の影響もあるのだと思いますが、正直なところ何も出来ないことに苛立っていることは確かです。私が事務局を辞退することで会に迷惑を掛けることは避けたいと思っていますが少々疲れてきました。緊急事態宣言は解除されるどころか場当たりのとも思える延長に腹立たしさを覚えます。

ともあれ、全会員のワクチン接種が進み感染が小康状態になるまでは頑張らなくてはと思っています。

■ さて、今回も私事ですが4月下旬から民生委員を仰せつかりました。初めてのことで若干戸惑いもありましたが、私で宜しければと引き受けました。

自宅から約1kmほど離れている中樽2丁目地区の144世帯が担当になります。4月中は担当地区を把握するため地番順の世帯ファイルを作成し、巡回し易いよう訪問用に備えました。5月に入り在宅の多い土日を中心に挨拶回りを始めました。コロナ禍で1軒づつの訪問は気を使いました。不在の家庭も多く、全ての家庭訪問は6月末くらいまでかかりそうです。本来ならば見守りをされる側の71歳を過ぎた私が担当するのも高齢化が進んでいて止む得ない現状です。（笑）

外出自粛を心掛け三密を回避し
コロナの感染から命を守りましょう！